

平成18年度「専修学校におけるNPO団体等と連携したニートに対する
職業教育支援事業」成果報告書

事業名	専修学校におけるNPO団体等と連携したニートに対する職業教育支援事業		
法人名	学校法人 伊達育英会		
学校名	四日市情報外語専門学校		
代表者	理事長 伊達 則彦	担当者 連絡先	日紫喜 良守 TEL 059-353-8118
<p>1. 事業の概要</p> <p>ニートと呼ばれる若者無業者の現状を把握し、県、市、商工会議所そしてNPOと協力して、連絡協議会を立ち上げ、専門学校で一体何ができるのかを、研究しカリキュラムを作成して実践する。具体的には、授業を、1.「カウンセリング」(事前、授業、就職)、2.「パソコン講座」(Excel、Word)、3.「就職支援」(履歴書等の作成)、4.「職場見学」の分野で実施し、自分の進路を決める手助けをする。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <p>連絡協議会の設立・・・三重県庁、四日市市役所、四日市商工会議所、そして、NPOの協力を得て、連絡協議を設置し、毎月定例会議のようにお集まりいただき、様々のアドバイスやご指導を頂いた。</p> <p>ニート(若者無業者)の現状把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・・・事業を開始するまでは、一体どういう人たちが集まってくるのか、とても不安だった。でも、集まってきたみなさんはとても真面目な人たちばかりでしたが、それゆえに抱えている問題があり、それも個々に全く違った物で根深いものであることを理解した。 <p>能力開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・・・サイトアンドサウンドシステムを使って「タッチタイプ」技術をマスターすることによって成功体験をつみ、自分に自信をつけ、パソコン等の授業を積極的に受講するようになった。 <p>100時間カリキュラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・・・専門学校、求職者訓練等で培われたノウハウを使って、カウンセリング、進路支援パソコン授業を合わせて100時間のカリキュラムを作成し実践する。 <p>カウンセリング・・・全く個別に受講生のスケジュールに合わせてカウンセリングを実施することによって、途中からようやく心を開いてくれ様々な話ができる。</p> <p>進路決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・・・全員就職させるわけには行かなかったが、何とか自分の力で次のステップを踏み出せるよう指導できた。(就職決定1名、訓練開始者1名、進学1名、就職活動開始4名、その他4名) 			

②事業により得られた成果

- 連絡協議会の設立・・・三重県庁、四日市市役所、四日市商工会議所、NPOの協力を得て、連絡協議を設置し、毎月会議にお集まりいただき、情報交換をする事によって様々な機関を活用できた。
- 分業による支援活動・・・他のNPO団体、三重大学や公共機関での支援活動と、専門学校ができる支援活動の内容を完全に分ける必要性を感じた。
- 成功体験・・・独特の視聴覚システムであるサイトアンドサウンドシステムによってタッチタイプをマスターさせ、自分でもできることを体験し、自信を取り戻させる事ができた。
- 個別のカウンセリング・・・受講者の心を開くため、自立支援アドバイザーが個々に、カウンセリングを行った。特に受講者の希望を入れて、同じ人が担当する時期を設けた。また、個別のファイルを作成して、アドバイザーは何時でも閲覧できるようにして、的確なカウンセリングを実施した。
- 情報の共有・・・・・・・・授業の経過、スケジュール、行事等の連絡を、インターネットのグループメール(ID、パスワードを持った会員のみが閲覧できる)を活用する事によって密にとれた。
- 100時間カリキュラムの有効性
・・・専門学校、求職者への訓練等で培われたノウハウを使った100時間のカリキュラムは、カウンセリング、就職支援、パソコン授業がバランスよく配分され、期間も長くなく適当であった。
- 進路決定・・・最終的に、就職決定者1名、訓練開始者1名、進学者1名、就職活動開始者4名、その他4名という進路を決定できた。

③今後の活用

連絡協議会のメンバーである三重県庁、四日市市役所、そして四日市商工会議所の職員の方とは、今後も情報交換をしていき、次年度も同じ事業を委託された場合も、ご協力、ご支援を頂くことになりました。NPOとは、今回の受講者との関係を急に終了してしまうのではなく、特に、進路を決定することができなかった人に対しては、相談窓口として、今後もアドバイスをしてもらおうこととしました。また、もちろん次年度も同様な事業の委託を受けた時は、ご協力を頂く事になりました。

100時間カリキュラムも、今回のように個別での授業から、今後は、クラス単位の授業で活用して、社会性も指導していかなければと思います。

④次年度以降における課題・展開

- 告知方法・・・本年度は、チラシ広告、記者会見により新聞記事、県・市の広報、FMのインタビューを活用した。今後は、支援活動をやっている他のNPO団体との連絡をもっと密に取っていく必要がある。
- 開始と終了・・・入校式や修了式をきちっとやって、連絡協議会のメンバーも受講生と実際に会う機会を設ける。
- 個別授業とクラス授業・・・内容によっては、個別の授業がいい場合もあるが、受講者同士のコミュニケーションを取らせる事を授業の中に入れていく必要があるため、クラス授業を実施する。
- ハローワーク等との連携・・・ハローワークや21世紀職業財団など、厚生労働省の機関との連携をもっと取るべきである。
- 職場体験・・・場合によっては、数日間から1ヶ月ぐらいの就労体験を途中でカリキュラムとして入れたほうがいい。

3. 事業の実施に関する項目

① 自立支援アドバイザー

連絡協議会のメンバーとして、7回開催された会議には必ず出席して、カウンセリング状況等の報告をする。カウンセリング終了後は、必ず個別のファイルに内容を記入して、アドバイザー全員が何時でも状況を把握できるようにした。カウンセリング時間数は、1人の受講者が20時間受けられ、総合計が200時間になるほど長時間になったが、カウンセリング手法、資料等を共有し、現在どういう状況で行われているか、全員が理解できるよう連絡を密にした。

② 講座の実施

カウンセリング

事前カウンセリング(6時間)・・・個々の状況・問題点を把握。生活習慣を支援し自己分析をさせた。

授業カウンセリング(3時間)・・・授業の進路にあわせて、問題や困っている事は無いか聞き取る。

就職意識カウンセリング(5時間)・・・どういう仕事がしたいのか、何を基準に選ぶのか等を検討。

進路カウンセリング(6時間)・・・今後どうするのか、進学、就職、訓練開始等進路を決定。

パソコン技術

パソコン基礎(3時間)・・・電源の入れ方、インターネットの接続等の指導

タッチタイピング(13時間)・・・パソコンの基礎となる手元を見ないでキー入力ができる技術をマスターし成功体験をさせ、パソコンの学習に意欲を持たせる。

ワープロ入門(20時間)・・・ワープロソフト(Word)の基礎操作を学習し、ビジネス文書作成。

表計算入門(20時間)・・・表計算ソフト(Excel)の基本操作を学習し、データを入力して表を作成。希望者には、MOS検定対策の指導をする。

進路支援

就職支援講座(12時間)・・・履歴書、職務経歴書等の作成、ハローワークでの説明会に参加し就職活動の準備をする。

職場見学(12時間)・・・4社(印刷会社、食品製造企業、販売流通企業、情報関係企業)の職場を実際に見学し、仕事の説明を聞いて、就職意識をつける。

③ その他

三重県庁、四日市市役所、四日市商工会議所がこの事業の実施にご協力いただいたのが、とても大きな成果であり、大きな特徴でありました。1つの専門学校がやれる事はたかが知れていますが、厚生労働省管轄のNPOと協力をする事にも大きな特徴がありましたが、それだけでも限界がありました。初めて実施した事業なのに何とか形にすることができた大きな原因は、県、市の協力があったことだと思われま。ニート問題というのは、とても大きな問題で、どうしてこんな問題が起こってきたのかといえば、文部科学省が関係し、その人たちがどう就職させたらいいのかといえば、厚生労働省の関係することからで、その為には、様々な企業の協力が必要で、これは、経済産業省の関係する事となります。このニート問題を通して、各省の協力が必要であるということが痛感させられました。